



布施だより

《 教育実習ありがとうございました。 》

教育実習が 20 日（金）に終わりました。生徒の皆さんへ 5 名の（岡野先生は一足早く終えられています。）先生方からのメッセージです。お伝えします。



＜笑顔の実習生の先生方＞

- ・チャレンジすることを忘れずに！！ 人は何故後悔をするのか。それはやってこなかったことを今になってやっておけば良かったと思うからだ。チャレンジしたことは振り返ったときに失敗でもいい思い出として残る。これから自分の目標に向かってチャレンジしていきましょう。（石井 良）
- ・とてもかけがえのない時間を過ごすことができました。みんなの元気な挨拶はとても素晴らしいですし、何より私を元気にしてくれました。これから苦しいことにぶつかると思いますが、いつも「前向きに」頑張ってください。（山本佳弘）
- ・3 週間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。廊下などですれ違ったときのみなさんの元気な挨拶と笑顔にパワーをもらい、3 週間頑張ることができました。これからもその元気な挨拶を大事にしていってください。（渡邊美咲）
- ・とても楽しい 3 週間でした。たくさん声を掛けてくれ、授業も楽しみにしてくれ、本当に嬉しかったです。中学校生活はあっという間に過ぎてしまいます。友達、仲間を大切にし、楽しい中学校生活を送ってください。（内堀美咲）
- ・朝早く来て清掃している生徒、あいさつがきちんとできる生徒、部活動に真剣に取り組む生徒。学習面だけでなく様々な面ですてきな姿を見せてくれて本当にありがとうございました。（石川愛恵）

教育実習生の石井先生、山本先生、渡邊先生、内堀先生、石川先生、3 週間ご苦労様でした。先生方を囲む生徒諸君の何と伸びやかで屈託のない笑顔、若い個性と情熱にぶち当たり全てを吸収したいと願う眼差し、先生方にとってそして皆さんにとっても全てが 3 週間の経験の賜物です。

先生方は実習の経験を大学に持ち帰って、経験と知識の統合を図るときになります。皆さんから得たことの恩返しの期間にもなるんですね。再会の時を心待ちにしましょう。

《 働くこと ～ 志事（仕事）のやりがい ～ 》

17日（火）には、2学年主催の「キャリア教育講演会」がありました。「株式会社ヌボー生花店ホテル国際21」で働く2級フラワー装飾技能士の北澤仁美さんの「何のために働くか」でした。

笑顔の素敵な講師はFlower Life=Happy Life（花のある生活が、幸せに通じる）と話を切り出しました。仕事の概要説明のあと、生徒達に「みなさんの将来の夢は何ですか？ になりたい職業はありますか？」と問いかけます。北澤さんは「気づいちゃったんです！・・・誰のために働くか！何のために働くか！・・・この目的をもつことが一番大切！」と生徒に投げ返します。高卒で働き始めて、（北澤さんは中学で吹奏楽で活躍していましたが突如、不登校を経験し、高校進学後もなかなか目的が見出せない期間を過ごしていたのです。）なぜ7年間も働いているのか、それは「お客様に喜んでもらえることが、私の喜びになったから！！！」と講演にも熱が入り、感嘆符が並びます！



＜笑顔の北澤仁美講師＞

私の喜び=志事（仕事）のやりがい、とキーワードを伝えてくれます。（お客様の喜んでいる笑顔 お客様の「ありがとう」の言葉）燃え尽き症候群だった北澤さんが、誰かに喜んでもらうためなら頑張れちゃうんですっ！と、ヌボー生花店との出会いから、仕事に夢中になれる自身を語り始めます。「一生の仕事を見つけた！大切にしていること・大切にしてほしいこと=どんな人になりたいかを考える。何のため、誰のために生きる・働くか。目の前の人に喜んでもらうために。」「とにかく目の前のことに全力で取り組むことで、全力で取り組む中で気づけることがあります。仕事はお金のためだけじゃない！！大切な人のために笑顔で働くだけで素敵な働く人になれますよ。」

若い、けれど澁刺としたキャリアを積んでいる北澤さんは終始、笑顔で人生の後輩たる中学生に語り続けてくれました。仕事に自信をもって取り組んでいる方々に共通しているのはやはり「他者意識」なんだと改めて感じさせられました。

作家の瀬戸内寂聴さんの言葉に「なぜ人は学ぶのか」の問いかけに「自分の能力を極限まで磨き、自分の中にある才能の可能性を引き出し、自分の才能が自分以外の誰かを喜ばせたり、幸せにしたりする。そのために人は学び続けるだ。」との断言があります。

北澤さんとの出会いが、職場体験学習に挑戦していく2年生諸君の中に、どんな化学反応（ケミストリー）を起こさせるのでしょうか！楽しみな社会との関わりの時がやってきます。

《 第28回 Honda エコマイレッジチャレンジ2014 鈴鹿大会 》

「第11号」でお知らせしました技術部諸君の活躍を島田剛先生のレポートです。

6月13日（金）11時10分。保護者の皆さんと先生方に見送られて学校を出発し、鈴鹿市へ向かいます。16時、予定よりも2時間早く鈴鹿青少年センターに到着します。翌日の作戦を立てながら、センター内を散策して過ごし



た。

6月14日（土）起床4時45分です。センターを出発5時15分に出発し、10分後には鈴鹿サーキット着です。車体をピットに下ろし、車検に向けて点検を進めます。

それからやっと朝食を摂りました。ブレーキ検査では、まさかの再々テスト。後ろから4番目にやっと検査通過の車体もあり厳しい車検です。いくつもの指摘を受けて直し、やっと合格。しかし時間がかかりすぎて テスト走行できず、そのままぶっつけ本番の車体もでてきます。

スタート前の最終チェックでは、エンジンがかからず慌てふためくメカニックも（笑）その後、軽快に走行が始まります。マシンのトラブルで3台中完走できたのが1台。その1台がクラス優勝！！

優勝したエボリューション号のドライバーとスタッフたち。晴れやかな笑顔です。レース終了後全員で記念写真に収まり、健闘を称え合いました。



《 北信大会が始まっています。 》

6月21（土）に中野市営球場で野球部の諸君の挑戦を皮切りに北信大会での挑戦が始まりました。

＜野球部＞ 対東部中●1-5



篠ノ井西中学校卒業生で、宝塚歌劇団でこの春初舞台を踏んだ中野佑友未さん（朱紫令真・・・・あかしれいま）のご両親が初舞台の報告をされにみえました。

中学校時代、宝塚歌劇団に魅了させられた中野さんは高校入学後、宝塚音楽学校に入り、この春念願の初舞台を踏まれました。

厳しい世界で挑戦を続ける中野さん、西中卒業生が各地で活躍の翼を広げてくれています。



＜挨拶状 より＞



代議員と体育委員会の諸君、それに体育科の先生方が参加され、24日（火）にプール開きが行われました。

先週、体育の時間を利用して掃除をしてもらい、週末から週明けにかけて水が張られ、真っ青なプールが準備されました。

シーズン中事故なきよう、そして生徒諸君の記録が去年のものを塗り替え、自己ベストのタイムが出せるよう参加者全員で祈願しました。

本格的な夏がやってきました。

